

社協から 今月のお知らせ



子どもたちの豊かな学びと 福祉理解を深める「福祉活動推進校」の 取り組みを進めます

福祉教育は、子どもの豊かな学び(気づき・発見)と福祉理解(支え合い・相互理解)を深め、地域福祉の増進につながります。

市社協では、市内のすべての市立小中学校(13校)を順次「福祉活動推進校」に指定させていただき、福祉団体(民生委員、赤十字奉仕団、障害者関係者など)のご協力を得て、学校と連携しながら福祉教育を推進しています。

11月23日(日・祝)開催の「みんなのルシオールカーニバル」(市民ホール)では、物部小学校・河西小学校から、授業の様子や、この活動を通じた児童の福祉意識の変化などを報告していただきます。

守山市社会福祉協議会

☎・有(583)2923 📠(582)1615

✉fukushi@moriyama-shakyo.or.jp



守山市
社会福祉協議会
ホームページ



ボランティアによるボッチャ体験学習



ボランティアによる点字体験学習



赤十字奉仕団による新聞紙スリッパ作り



ある社会福祉士のひとこと



「ちょっといいこと」、始めませんか

「福祉」という言葉を聞くと、少し堅い印象を受けませんか。けれど本当は、もっと普段の暮らしの中にあるもの。例えば、道で落とし物を拾ってあげる、重い荷物を持つ人に「大丈夫ですか」と声をかける——そんな場面にも、福祉はじんわり広がっています。

12月3日(水)は「国際障害者デー」。世界では「バリアフリー」を考える日ですが、心の中にも小さな段差があります。それに気づくことが、思いやりの第一歩。肩の力を抜いて、「ちょっといいこと」を今日から始めてみませんか。



展示だけではない美術館の使命

佐川美術館「アートコラム」99

佐川美術館
学芸員・深井千尋



現在、佐川美術館は改修工事のため来年6月末まで長期休館しています。休館中はどんなことをしているの?とご質問を頂くことがあります。美術館は作品を展示するだけでなく収集・保管する役割も担っており、休館中は特に収蔵品の保存・管理に注力しています。今回は、その取り組みの一部を紹介いたします。

収蔵品の「保存」において、休館中は作品のコンディションをチェックし、状態に応じて修復などの措置を講じる絶好の機会です。特に常時お客さまの目に触れる場所に設置されている野外彫刻は、メンテナンスのタイミングが難しく、休館中に日頃の掃除で落としきれない汚れを除去し、酸性雨や鳥のふんから保護するコーティングを施しています。

収蔵品の「管理」においては、作品のデータベースの整理や充実に取り組んでいます。図書館の蔵書と同じように、当館の収蔵品は絵画や彫刻といったジャンルごとに専用の管理番号が振られ、タイトル・作者・制作年・材質・技法などの基本情報がデータベースに登録されています。休館中は展覧会への出品歴や作品解説など詳細な情報を追加するほか、先述したコンディションチェックの結果に応じたデータ更新も行っています。

こうした収蔵品の保存・管理の成果は再開館後の展示に活かされ、より良い状態の作品と詳しい情報を公開することにつながります。充実した内容の展覧会を開催できるように準備を進めておりますので、リニューアルオープンを楽しみにお待ちしております。

※佐川美術館は施設改修およびメンテナンスのため長期休館中です。